

**平成27年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
研究進捗評価 現地調査報告書**

課題番号	26000001	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	人口減少社会における、経済への外的ショックを踏まえた持続的発展社会に関する分析		
研究代表者名 (所属・職)	馬奈木 俊介 (九州大学 大学院工学研究院 教授)		

評価コメント
<p>社会の持続的発展の可能性を分析する枠組みや、そのための指標の作成は、社会的重要度の高い研究課題であるが、この研究分野において、従来必ずしも重視されてこなかった人口減少や大規模自然災害の影響を、日本の経験をもとに取り入れて発展させようとする本研究は、順調な立ち上がりを見せている。現時点までの主な研究成果は、自然資本・人的資本・人工資本を含んだ「包括的な富」の指標づくりと、多国間にまたがる大規模な調査による、主観的満足度に基づいた豊かさの指標づくりである。このようなデータの収集と整備は、本研究の要となるものであるが、「どのような目的で・何のために・どのように使うのか」ということを明らかにしつつ研究を進めることで、より一層大きな成果が得られると考える。また、主観的幸福度の調査については、調査国における自然災害により調査に遅れが生じているが、今後の研究計画を適宜調整し、実査体制を強化する等の対応が望まれる。</p> <p>特別推進研究による世界トップレベルの研究成果を生み出すべく、世界の研究者が注目するジェネラル・ジャーナルや、環境経済学等の該当分野でのトップのフィールド・ジャーナルに研究成果を輩出することを目標にして、今後の研究を進めることも期待したい。</p>